



(4) 類似事業の有無  
無

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	1,920	宅地造成規制区域標識の設置費
合計	1,920	

#### 決定額の考え方

### 4 参考事項

#### (1) 後年度の財政負担

破損・倒壊等により機能を失ったものについては順次更新を行う。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
破損・倒壊等により機能を失った標識について順次更新を実施

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
①						%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

- ・規制区域の周知のための標識設置事業であるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組内容と成果を記載してください。 老朽化等により判読が困難となった標識等9カ所（令和2年度）を更新した。（平成27年度からの事業で、例年は本来15カ所程度である。） 機能を喪失した標識の更新を行うことにより、宅地造成工事規制区域であることを周知し、宅地造成工事に許可が必要なことを広く周知することが可能となる。</li> </ul>
令和3年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：____%</p>
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：____%</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>宅地造成工事規制区域は、宅地造成により災害の生ずる恐れが著しい地域を指定しており、当該地域であることを広く周知する必要がある。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>現在、300か所程度に標識を設置しており、周知が図られている。</p>
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 1	<p>規制区域の図示化・道路沿道への設置等、わかりやすい周知に努めている。</p>

### (今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 経年劣化により機能を喪失するものが発生しており計画的な更新が必要。 標識としての機能を維持できるよう計画的な更新を実施する。</p>
---

### (次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 標識としての機能を維持できるよう計画的な更新を実施する。</p>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	